

HC-II工法の施工手順

STEP 1 下地処理、清掃、養生 下地と塗料の付着を阻害するようなレイタンス、油脂、錆、汚れを除去し、ひび割れ部からの水分は充分に止水する。



STEP 2 KFシールテクト アンダーコートHC塗布 製品の容器に硬化剤と粉体を入れ、1分間電動攪拌機で混合する。さらに主剤を加え、1分間均質になるまでしっかり混合する。



STEP 3 KFシールテクト HC-IIトップ塗布 1液タイプで硬化剤不要の塗料ですが、必ず電動攪拌機で攪拌してから使用する。



KFシールテクト HC-II工法 標準仕様 Standard Specification

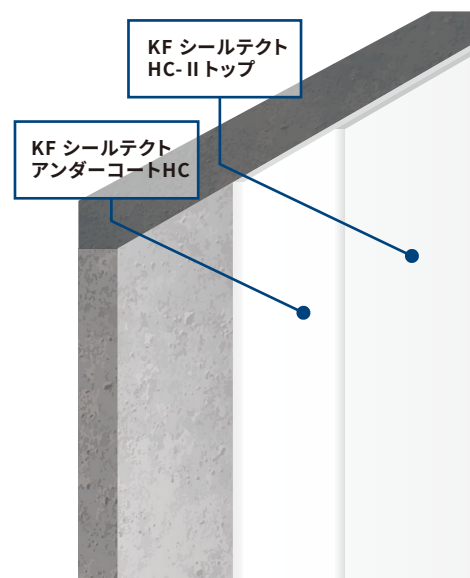
トンネル内装塗装工の施工工程表 (2工程のため迅速な施工を可能にします)

塗装工程	塗装名	使用量(kg/m)	塗装方法	塗装間隔(20℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> サンダーケレン、高圧水洗浄等で付着阻害要因となる汚れ等を除去、清掃して下さい。 必要に応じて下地欠損箇所等はポリマーセメント等で補修して下さい。 結露等により下地表面に付着した水滴等は除去し、乾燥したウエス等で取り除いてください。 下地の凹凸や巣穴が目立つ場合は、専用のパテ材もあります。製品名 KFシールテクトアンダーコートTパテ 			—
下塗り	KFシールテクトアンダーコートHC (3成分型水性エポキシ塗料)	0.25	刷毛・ローラー	0.5時間以上~7日間以内
上塗り	KFシールテクトHC-II トップ (1液形シリコン系無機塗料)	0.15	刷毛・ローラー	

各種塗料の可使時間と塗装間隔

材 料		5~15℃ (冬期)	10~15℃ (春秋期)	20~35℃ (夏期)
KFシールテクト アンダーコートHC	可使時間	6時間	4時間	2時間
	塗装間隔	1.5時間~7日間	1時間~7日間	0.5時間~7日間
KFシールテクト HC-IIトップ1層目	可使時間	6時間	2.5時間	1時間

標準施工断面図



施工条件

- ⚠ トンネル内装面であること。
- ⚠ 気温 5℃ 以上・湿度 85% 以下の環境で作業すること。
- ⚠ 施工面の補修歴が施工に支障ない下地であること。
- ⚠ 施工面が濡れていないことを確認すること。(下地含水率 10%以下)
- ⚠ 施工面を十分に清掃し、付着阻害要因となる異物等を除去すること。
- ⚠ 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。

トンネル内装塗装

KFシールテクト HC-II工法

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

■ 本 社 (土木・建築事業部)
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング9F
TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023
<http://www.k-fine.co.jp/>

特約店

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

KFシーラテクト HC-II工法のメリット

1day

**2工程で
一日で完工可能**

※ 施工時の時季や温度によって
乾燥時間・塗料間隔は変動するので
ご注意ください。

乾燥性に優れた水系下塗材 QUICK DRYING

セメント系粉体と水性エポキシ樹脂、水性アミン樹脂の3成分からなる水系塗料で乾燥が早いです。

施工性に優れた上塗材 WORKABILITY

1液形シリコン系無機塗料により、施工性、レベリング性に優れ、効率よく美しい塗装面に仕上げることができます。

交通規制の期間短縮 PERIOD SHORTENING

全工程を一日で完工可能なため、工事による交通規制の短縮ができます。

汚れが付着しにくい塗膜を形成。
排気ガス等の汚れが水洗浄で除去できます。 ANTIFOULING PROPERTY

熱・紫外線・雨などに強く耐候性に優れます。 WEATHERABILITY

トンネルの壁面を明るくすることでドライバーの
走行安全性、快適性が向上します。 VISIBILITY

車両火災事故時に延焼しない不燃材料です。 INCOMBUSTIBILITY

塗膜の特徴

優れた防汚性、
耐候性、視認性、不燃性

3成分型水性エポキシ塗料 KFシーラテクトアンダーコートHC

下地や上塗材との密着性が高く、下地調整材としての役割も果たす水性の下塗材

荷姿	20Lポリペール缶、粉体5.4kg、主剤2.0kg、硬化剤2.0kg
標準塗布量	0.25kg/m ²



KFシーラテクト アンダーコートHCの特長

FEA TURE 1	白い塗料なので下地の色ムラを隠してきれいに仕上がりがやすい	FEA TURE 2	下地の微細なひび割れや素穴の補修効果が期待できる
FEA TURE 3	塗膜表面がザラついているため、上塗りでローラーを使用したときに滑りにくい	FEA TURE 4	施工後の乾燥が速い
FEA TURE 5	セメント硬化とエポキシ硬化の2つの硬化システムで強固な下地を形成		

KFシーラテクト アンダーコートHCの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5℃	3時間	10時間
23℃	1時間	5時間
35℃	0.5時間	3時間

使用上の注意

- ポリペールに硬化剤と粉体をすべて入れ、電動攪拌機で1分間混合してください。混合液が均質になったところに主剤を入れ、更に1分間混合してください。
- KFシーラテクトアンダーコートHCは可使時間を過ぎても使用可能ですが、下地との付着性が低下するので可使時間は必ず守ってください。

1液形シリコン系無機塗料 KFシーラテクトHC-IIトップ

光沢のある美しい白色塗膜を形成しトンネル内の安全性を向上させる上塗材

荷姿	石油缶15kg
標準塗布量	0.15kg/m ²

消防法危険物
第四類第一石油類



KFシーラテクト HC-IIトップの特長

FEA TURE 1	レベリング性に優れ美しい塗装面となる	FEA TURE 2	不燃材料である
FEA TURE 3	1液タイプで混合不足による硬化不良の危険性がない	FEA TURE 4	防汚性に優れ、清掃が水洗浄で簡単に行える

KFシーラテクト HC-IIトップの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
10℃	6時間	36時間
23℃	2.5時間	13時間
35℃	1時間	7時間

使用上の注意

- 1液タイプなので硬化剤等の混合は不要です。ただし、容器底に塗料中の成分が分離している場合がある為、使用前に電動攪拌機で30秒攪拌してから使用してください。
- 空気中の水分と反応する為、数時間放置する場合には、マスクやビニール等で塗料を空気から遮断してください。

西日本高速道路株式会社 塗装材料を用いたトンネル内装工の設計施工要領(案) 平成26年10月版に適合

性能

試験項目	規格値	結果	判定	試験方法	
塗料	耐火性試験	国土交通省大臣が認定する「不燃材料」であること。	不燃性及び技術的基準を満足している不燃材	合格	—
表面塗膜	色	白色系	白色	合格	目視
	初期反射率	60%以上	91.5%	合格	JISZ8722の(45°x:0°)によるY値
	反射率耐久性	10サイクルの拡散反射率全平均値が65%以上、または20サイクルの拡散反射率全平均値が60%以上のこと	10サイクルの拡散反射率全平均値85.1%、20サイクルの拡散反射率全平均値79.8%	合格	試験法 732-2017
	塗膜硬度	鉛筆硬度 3H以上	6H	合格	JIS K 5600に準拠
耐液体性	耐候性	塗膜にふくれ、われ、はがれがないこと	塗膜にふくれ、われ、はがれがなし	合格	JIS K 5600に準拠
	耐湿	異常が無いこと	異常なし	合格	JIS K 5600:1999
	温冷繰返し	塗膜にふくれ、われ、はがれがないこと	塗膜にふくれ、われ、はがれがなし	合格	JIS A 6909
	5%硝酸液	塗膜にふくれ、われ、はがれがないこと	塗膜にふくれ、われ、はがれがなし	合格	JIS K 5600
凍結融解	5%硫酸液	塗膜にふくれ、われ、はがれがないこと	塗膜にふくれ、われ、はがれがなし	合格	JIS K 5600
	飽和水酸化カルシウム	塗膜にふくれ、われ、はがれがないこと	塗膜にふくれ、われ、はがれがなし	合格	JIS K 5600
	3%塩化ナトリウム溶液	塗膜にふくれ、われ、はがれがないこと	塗膜にふくれ、われ、はがれがなし	合格	JIS K 5600
	凍結融解	塗膜にふくれ、われ、はがれがないこと	塗膜にふくれ、われ、はがれがなし	合格	JIS A 1435に準拠
付着強度	1.00N/mm以上	3.56N/mm	合格	建研式直接引張試験	
密着強度	3mm間隔のカット後の残存状態に対して、剥がれが生じないこと	剥がれがなし	合格	JISK5600 5.6クロスカット法に準拠	

